



# 慶應義塾 協生環境推進室

Office for Equity, Diversity, and Inclusion

## 協生環境推進室について

慶應義塾は、教職員・学生・生徒・児童が、互いの人格を尊重し多様な価値観を認め協力して生きるための環境を構築し、多様性の受容に関する課題に迅速に対処するため、2018年4月1日に「協生環境推進室」を設置しました。男女共同参画室およびバリアフリー委員会を発展的に再編した本推進室は、「ワーク・ライフ・バランス」、「バリアフリー」、「ダイバーシティ」に関する事業推進を通じて、我が国における協生社会の形成を先導することを目的とした新組織です。

現在、ダイバーシティ(多様性)への取り組みに加え、誰もが社会から孤立したり排除されたりせず、社会の構成員として能力を発揮でき、互いを支え合おうという「ソーシャルインクルージョン(社会的包摂)」に基づく協生社会の実現が目指されています。多様な価値観を共有・発信するプラットフォームを基盤に、慶應義塾がこれまでに培ってきた知見を共有しながら、年齢、性別、国籍、障害、SOGI(性的自認・性指向)、文化、人種、信条、ライフスタイルなど、さまざまな背景をもつ人々が互いに尊重・協力しあう協生社会の実現を目指して、一貫教育校から大学・大学院までを包含した全塾的な取り組みを推進します。



## 「独立自尊」・「他尊」のキャンパスを目指して

### ◆ 私たちが考える協生環境とは

異なる価値観に敬意を払い、互いの尊厳を認め合いながら、社会的固定観念と心身の制約を乗り越え、一人ひとりが自分の選択に応じた生き方を実現できる社会

### ◆ 協生環境に込められたメッセージ

異なる価値観への理解、互いの人格を尊重する姿勢、そして何より自分らしく生きることへの共感と配慮

### ◆ ダイバーシティを受容・推進できる組織こそ発展・成長できる



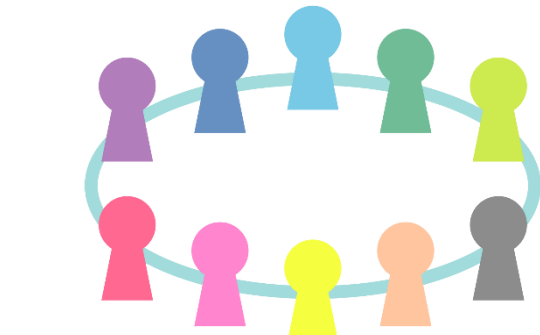
## メッセージ

協生環境推進室は2018年4月に設置された新たな組織です。

私たちは今、多様な価値観と社会的背景を持った人々が織り成すグローバル化という変化の波に直面しています。

義塾の中でも、多くの多様な方々とのかかわりが不可欠となっています。当室の名称に用いられた「協生」は協力して生きるという意味の造語ですが、福澤諭吉先生も『修身要領』の中で、「社会共存の道は人々自ら権利を護り、幸福を求むると同時に、他人の権利幸福を尊重していやしくもこれを犯すことなく、もって自他の独立自尊を傷つけざるにあり」(『修身要領』1900(明治33)年2月)と述べられています。「独立自尊」や「社中協力」の理念の下、慶應義塾が受け継いできた福澤先生の「志」である協生社会の実現を目指す活動は、義塾創立以来の理念に深く根差しているといえるでしょう。

多くのみなさんに当室の活動に関心をもってもらえることを期待しています。



協生環境推進室Webサイト  
<https://www.diversity.keio.ac.jp>

## 協生環境推進憲章

2019年9月20日制定

慶應義塾は、創立者福澤諭吉が「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずと云えり」と『学問のすゝめ』の冒頭で述べたように、一人ひとりの自由・平等・権利を尊ぶ精神の涵養を建学以来教育理念として掲げてきました。

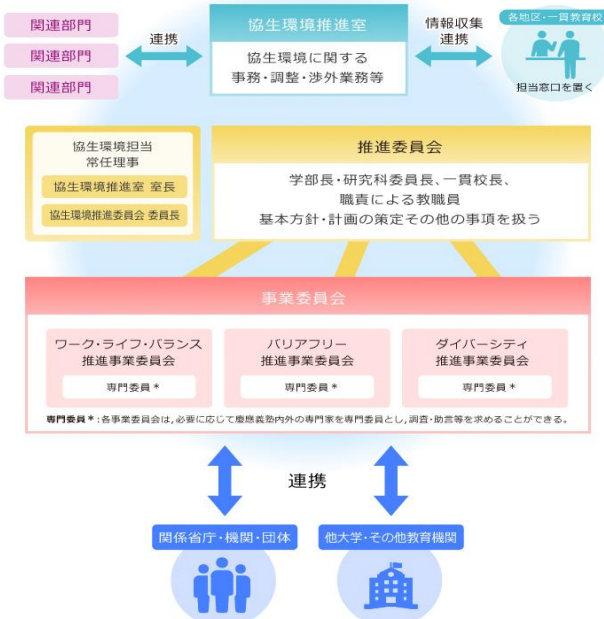
また、福澤諭吉は「社会共存の道」とは、「人々自から権利を護り幸福を求むると同時に、他人の権利幸福を尊重して、苟(いやしく)も之(これ)を犯すことなく、以て自他の独立自尊を傷けざるに在り。」と編纂された『修身要領』の中で述べ、さらには人と人の交わりである「人間交際(じんかんこうさい)」の実践を大切にしましたが、その実現は現在もなお途上にあり、いまだ多くの課題が存在しています。慶應義塾は、「協生」という理念の下、その解決に向けて、社中一致して取り組みます。

多様な価値観が並存する今日、年齢・性別・SOGI(性的指向・性自認)・障害・文化・国籍・人種・信条・ライフスタイルなど、様々な背景を有する人々が、誰一人として社会から孤立したり排除されたりすることなく、互いの尊厳を尊重し合う社会が実現されなくてはなりません。

慶應義塾は、「気品の泉源、智徳の模範」として「全社会的先導者」たらんとする創立以来の目的に沿って、多様な価値観を認め、自他の尊厳に等しく敬意を払い、協力し合う協生社会の実現を目指し、ここに慶應義塾 協生環境推進憲章を定めます。

### 憲章

- 1 自他の尊厳に等しく敬意を払い、互いの人格を尊重し、協力し合う協生社会の実現を目指します。
- 2 多様な価値観への理解を深め、自分らしく生きることへの共感と配慮を育む啓発活動を推進します。
- 3 社会的障壁を取り除くことに努め、個々の選択に応じた生き方を実現できる環境を整備します。



### 協生環境推進室の体制

協生環境推進室は、担当常任理事の下に全塾的組織となる推進委員会が設けられており、その下で各学部・研究科・一貫教育校からの教員や関連部署からの職員等、知見を生かしたメンバーによるテーマ毎の3つの事業委員会が活動を行っています。

なお、現在、各種相談対応等について整備を行っており、今後順次対応を行っていく予定です。また、関連の研修会や講演会等の開催も随時予定をしています。ご相談やご不明な点等がありましたら、下記連絡先までお問い合わせください。事務室は、三田キャンパス 正門左手、インフォメーション・プラザ2Fに設置されているほか、各キャンパスの総務担当・学事担当課長、各一貫教育校事務長他が協生環境推進室を兼務し、一次対応の窓口を務めています。

### これまでの取り組み(一部紹介)

- 慶應義塾育児支援プログラムの開始 KIDS(Keio Infant Daycare Support)
  - 情報保障サポートデスクの設置
  - 障害支援機器等の整備
  - Eラーニングコンテンツの公開
  - 塾内勉強会
  - 「協生環境推進ウィーク～ 自尊＝他尊の社会を目指して」開催
- <企画例>
- ◆ 創作と多様性～文芸的視点からのダイバーシティ論
  - ◆ 落語DEダイバーシティ～フランス人 落語パフォーマーによる講演～
  - ◆ Beyond Gender～ジェンダー・セクシュアリティ・ダイバーシティを考える
  - ◆ ココロの壁を打ち破れ-異言語Lab. の挑戦-
  - ◆ 映画上映『ぼくが性別「ゼロ」に戻るとき～空と木の実の9年間～』
  - ◆ 障害者への合理的配慮の義務化について～東京都の新たな条例が意味するもの～
  - ◆ 多様な性/LGBTの存在が当たり前の“場所”を作る 他



Webサイト <https://www.diversity.keio.ac.jp>  
E-mail [keiodiversity@info.keio.ac.jp](mailto:keiodiversity@info.keio.ac.jp)  
TEL 03-5427-1512  
窓口 三田キャンパス 三田インフォメーションプラザ2階

